越境型理工系博士人材育成プロジェクト ／ 高度人材育成博士フェローシップ

 2022年度秋採用 申請書

　　　　　記入日 年 月 日

|  |
| --- |
| 東京工業大学長　殿私は、本プロジェクトの募集要項の全記載内容について同意・了承の上、受給者として採用願いたく、下記の記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。**申請者氏名（自筆）** |
| 【重要】応募を希望する支援制度（A～C）のいずれかに○をつけてください。両方への応募を希望される方（C）は、第一希望の支援制度に〇をつけてください。A：（ [ ]  ）越境型理工系博士人材育成プロジェクト（以下「越境型」という） B：（ [ ]  ）高度人材育成博士フェローシップ（以下「フェローシップ」という）C：（ [ ]  ）越境型・フェローシップ両方　→　第一希望（ [ ]  ）越境型　（ [ ]  ）フェローシップ |
| 氏名 |  | ふりがな |  |
| 生年月日 | 西暦 年 月 日生（満　　歳） | 国籍 |  |
| 電話番号 |  | E-mail |  |
| 博士後期課程学籍番号 | ※入学手続書類に記載されています。不明の場合は不明とご記載ください。 | 修士学籍番号（内部進学者のみ） |  |
| 現住所 | 〒　　　　-　　　　　　　※ 引越し予定のある方は、2022年10月1日時点の住所を記入してください。 |
| 希望する所属 | 　　　　　　学院　　　　　　　　系　　　　　　　コース |
| 登録教育院（登録者のみ選択） | [ ]  リーダーシップ教育院（ToTAL）　　[ ]  物質・情報卓越教育院（TAC-MI）　[ ]  超スマート社会卓越教育院（SSS）　[ ]  エネルギー・情報卓越教育院（ISE） |
| 経歴 | 学士：西暦　　　年　　月　　　　大学　　　　　　　学部卒業修士：西暦　　　年　　月　　　　大学大学院　　　　　研究科　　　　　専攻修了（予定）職歴：西暦　　　年　　月 ～　　年　　月　社名・職種・身分等 |
| 修士論文 題目 |  |
| 【確認欄】応募資格、採択者義務・申請書内容について |
| 本人 | [ ]  私は、今回応募する支援制度の応募資格を満たしています。また申請中・採用後に資格喪失した場合は、速やかに辞退を申し出ます。[ ]  私は、応募する支援制度に採択された場合、指定されている義務を履行します。[ ]  すべての申請書類に虚偽はありません。また、内容に虚偽があった場合、大学から研究奨励費・研究費等の返納要求があれば返納に応じます。[ ]  求められた場合は、大学院修了後もキャリアに関する追跡調査に最長10年間協力します。 |
| 受入予定教員 | 制度趣旨を理解し、採択者の義務履行を承認します。 | **受入予定教員名（自筆）** |
| （※コメントがありましたらご記入ください） |

 **A：越境型のみに応募する方**

**1（1.1～1.3）及び2（2.1～2.3）を記入してください。**

 **B：フェローシップのみに応募する方**

**1（1.1～1.3）及び3（3.1～3.3）を記入してください。**

 **C：越境型・フェローシップ両方に応募する方**

**全ての項目を記入してください。**

※ 図表を含めてもよいのでわかりやすく記述してください。様式の変更・追加は不可です。フォントは10pt以上をご使用ください。

**1　記入対象者：全員（A・B・C）--------------------------------------------------**

| **1.1 研究計画**博士後期課程における研究構想と修了までの実施計画について、専門外の者にも理解しやすいよう、わかりやすくかつ具体的に記述してください。併せて研究タイトルを記載してください。（A4用紙1頁半以内）**※**この計画の成果を業績報告書に記述していただきますので、それを想定して作成ください |
| --- |

研究タイトル：

（研究計画　続き）

|  |
| --- |
| **1.2 研究業績**修士課程以降の研究業績について記述してください。（A4用紙1頁以内） |

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は報告書を作成する際には消去してください。*

*研究業績の記入にあたり、以下にご留意ください。*

*1. 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を明らかにしてください。査読ありの場合、採録決定済のものに限ります）。これらについて、著者（申請者の部分にアンダーラインを引くこと）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年を記載してください。*

*2. 学術雑誌等または商業誌における解説、総説*

*3. 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください）著者、題名、発表した学会名、講演番号、場所、月・年を記載してください（発表予定のものは除く。ただし、発表申込が受理されたものは記載してもよい）。*

*4. 国内学会・シンポジウム等における発表　3.と同様に記載してください。*

*5. 特許等（申請中、公開中、取得を明らかにしてください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみ記載してください）*

*6. その他（受賞歴、TV・新聞・雑誌・専門誌等のメディアでの紹介記事、表紙掲載、プレスリリース等）*

|  |
| --- |
| **1.3 キャリアプラン**本制度は、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士人材を養成することを目的としています。支援対象学生は修了後も我が国の大学や民間企業等で科学技術・イノベーションの創造に直接携わる意思、能力を有することが前提です。この目的に鑑み、博士修了後のキャリアプラン（アカデミア、民間企業、官公庁、起業、ポスドク等）について、自分の研究をどのように社会に役立てたいかを含めて記述してください。（A4用紙１頁以内） |

**2　記入対象者：越境型に応募する方（A越境型のみ・C両方）----------------------------------**

|  |
| --- |
| **2.1 「1.1研究計画」における研究構想の挑戦的・融合的な点を簡潔に説明してください。**（A4用紙半頁以内） |

|  |
| --- |
| **2.2 本プロジェクト採択者の義務である3か月以上の学外研鑽計画を記述してください。**（A4用紙半頁以内） |

|  |
| --- |
| **2.3 次世代研究者挑戦的研究プラス　＜応募希望者のみ記入＞**研究計画に記した博士研究をより発展的・融合的に展開するチャレンジを行いたい学生は、年額70万円の資金を上限として、「次世代研究者挑戦的研究プラス※」に応募することが出来ます。応募者は、プラスチャレンジの内容、年額70万円を上限とする予算利用計画を記述してください。（A4用紙1頁以内）。・共同研究など融合的な提案を歓迎します。・支出例（研究設備・機器購入、国際学会への参加発表旅費、論文校正費用、試作品制作費用、各種消耗品費等）・この研究費の使用期間は、当該年度限りです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※詳細は募集要項をご確認ください |

|  |  |
| --- | --- |
| 申請額 | 　　　　　　　　　　円 |

2-3-1. プラスチャレンジの内容

2-3-2. 予算利用計画（申請額の内訳・詳細）

**3　記入対象者：フェローシップに応募する方（Bフェローシップのみ・C両方）---------------**

|  |
| --- |
| **3.1 研究構想がスマート社会の創出にどのように関連するか簡潔に説明してください。**（A4用紙半頁以内） |

|  |
| --- |
| **3.2 キャリアプランがスマート社会創出にどのように寄与できるかを記述してください。**（A4用紙半頁以内） |

|  |
| --- |
| **3.3 募集要項8.フェローシップ学生の義務との関連において学修計画を記述してください。**（A4用紙1頁以内） |